

進学経験談

李新炎

李新炎と申します。中国の河南省から来ました。大学学部と修士課程は中国海南島にある海南大学で過ごし、修士の学位を取得致しました。この度、国立東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科博士後期課程応用環境システム専攻に合格し、在学していた亜細亜友之会外語学院から進学経験談を書くご依頼を頂き、大変うれしく、光栄に思います。

河南省から海南島へ、そして海南島から東京の海洋大学へと、自分の足跡をたどっていくと、海洋への深い愛着を再確認できました。海が好きだから私は海南大学で勉学することを選びました。海のことをもっと研究したいから、東京海洋大学で研究者になる道を歩むことを決めました。海洋への愛着を持ち続けたため、日本に来たばかりの頃から新型コロナウイルス感染症で大変な世の中になった現在まで、私は勉強を怠らず、成長してこられた理由です。

私が日本で学んだ多くのこと、成長できたこと、どれも日本語学校の先生方のおかげです。私は2019年5月に海南大学の3+1プログラムに参加し、亜細亜友之会外語学院に留学しました。出発の時期が修士論文のテーマを決める時期と重なり、出発が1か月遅れとなりました。最初の1か月は基礎をつくる重要な時期です。授業で遅れを取った私は焦ってしまいました。こんなときに私を助けて下さったのが担任の小野先生です。小野先生は放課後の時間を使って補習と小テストをして下さって、私を励まし続けました。そのおかげで私の日本語が少しながらも上達し、自信ができました。亜細亜友之会外語学院に入学して少し時間が経った頃、私は気づきました。担任の小野先生をはじめ、すべての先生方が学生と真剣に向き合い、学生のことを最優先に考え仕事をこなしています。学校の先生というより、家族と一緒に過ごしている暖かい感覚でした。ここで、私は知識の勉強はもちろん、一人で外国に来たにもかかわらず、家族間の暖かさを感じつつ暮らしていました。コロナ感染症拡大をきっかけに、この家族のような暖かさをより強く感じました。日本語学校で1年コースを終えた私は今年の3月末までに中国に戻るべきでした。感染症の影響を受け、帰りの飛行機の予約キャンセルが相次ぎ、留学ビザの期限も残り少しとなり、正直当時の私はストレスを抱えていました。学校の先生方が私の状況を知り、助けの手を差し伸べて下さいました。柯先生が帰りの飛行機と一緒に探して下さい、毎日の検温もきちんとチェックを行いました。帰国困難な学生を対象に在留資格の変更が可能となった情報をいち早く教えて下さったのが副学院長の石川先生です。このようにして、私は学校の先生方の助けと暖かい見守りの中で大変な時期を乗り越えました。

大変な時期に私に感動を与えて下さった学校の先生方の支えが私の進学を後押ししました。出願の際、私は迷いもなく東京海洋大学を選びました。出願の機会は私にとって非常にありがたいことで、感染症の影響も私をとめることができず、私は進学の準備に取り掛かりました。もちろん、私が進学を決めたもう一つの要因は海への愛着です。自分のリサーチを経て、進学の準備のポイント3つをまとめました。それが修士論文、博士課程の研究計画と志望指導教授の研究分野、成果の3つでした。まず、修士論文の研究背景、各章の内容の要約及び研究の結論のそれぞれを短い言葉で説明し、新たに修士論文の要約を作成し、こちらを口頭試問の下準備の材料にします。また、口頭試問で聞かれた質問を思い出し、回答を適切に広げていくと良いでしょう。自分で出そうな質問を事前に予想しても良いかもしれませんが。私の場合、口頭試問で修士の口頭試問のときに聞かれた質問に類似することを聞かれました。次に、博士課程の研究計画のテーマはなるべく自分の興味のある分野にして下さい。研究の対象はできるだけ狭い範囲に限定すると良いでしょう。私の研究テーマのルーツは修士論文に残された課題と志望教授が行っている研究にあります。研究計画書を書く際、研究の背景が最も重要な部分だと個人的に思います。なぜこの研究テーマにしたのかをきちんと説明でき、教授に納得して頂くことが非常に重要だからです。研究方法と研究スケジュールは自分なりに合理的に設定すれば良いでしょう。最後に、指導教授の研究分野のリサーチは相当時間がかかります。研究分野は公式HPに載っています。通常、複数の研究分野が存在します。良く考えてみれば、それぞれの分野の間に関連性が存在します。自分がまとめをしているときは以下のステップを踏みました。一つは先行研究の理論知識のリサーチです。もう一つは指導教授の研究成果です。この二つをしっかりおさえれば、自分の足りない部分が見つかります。その後、関連資料を調べ、不足がちな理論知識を補います。

進学の準備段階はとても忙しかったのですが、充実さも十分あり、楽しかったです。感謝の気持ちがあつて私はあきらめずに今日まで頑張ってきました。皆さんにも是非頑張ってもらいたいです。本当にありがとうございました。